

---

**Windows 向けラベルソフト「テプラ クリエイター」**  
**「テプラ クリエイターAPI」機能**  
**サンプルプログラム 簡易マニュアル**

---

# 目次

はじめに .....	2
サンプルプログラム動作環境 .....	3
サンプルプログラム使用方法 .....	4
開発者様向けのご案内 .....	6

# はじめに

本書は、「テプラ クリエイターAPI」(SPC10-API)機能サンプルプログラムの使用方法について書かれています。あわせて「テプラ」本体および Windows 向けラベルソフト「テプラ クリエイター」(SPC10)の取扱説明書、「テプラ クリエイターAPI」(SPC10-API)機能ユーザーズ ガイドをご覧ください。

本サンプルプログラムは、Excel マクロ有効ファイル(.xlsm)とレイアウトファイル(.lw1)で構成されています。

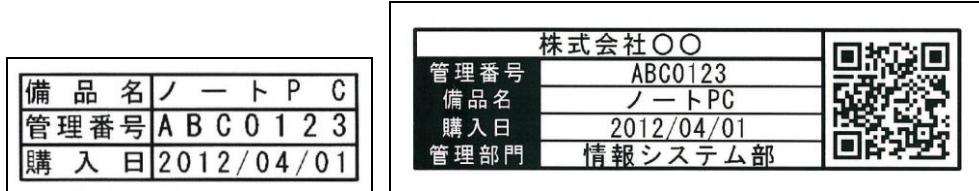
Excel マクロ有効ファイル(.xlsm)は、Windows 向けラベルソフト「テプラ クリエイター」(SPC10)および「テプラ」プリンタドライバの呼び出しコマンドを VBA プログラムとして組み込んでいます。このファイルを開いて「印刷」ボタンをクリックすることで、直接「テプラ」でラベル印刷をおこなうことができます。

レイアウトファイル(.lw1)は、「テプラ クリエイター」(SPC10)の流し込み機能を使用して作成したファイルです。API 連携でこのファイルを呼び出し、設定したデザインに印刷データ(.csv)を流し込んでラベル印刷します。

本サンプルプログラムでは、お手持ちの「テプラ」から、「備品管理ラベル」「宛名ラベル」「値札ラベル」の 3 つの用途にあったラベルを印刷することができます。

## 【「テプラ」PRO SR5900P でのラベル印刷例】 ※画像は原寸サイズではありません

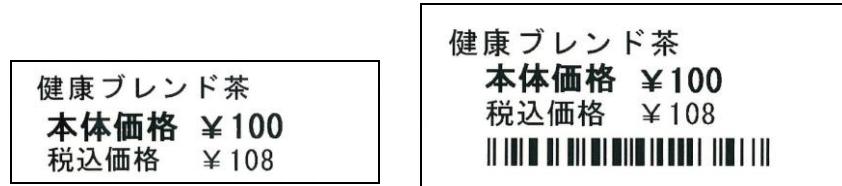
### ○備品管理ラベル



### ○宛名ラベル



## ○値札ラベル



## サンプルプログラム動作環境

本サンプルプログラムは以下の環境にて、正常に動作することを確認済みです。

OS: Windows 10 / 8.1 / 8 / 7 (32/64bit 版)各日本語版

Excel: Excel 2019 / 2016 / 2013

対応機種は、「テプラ」PRO の以下の機種です。

SR-R7900P / SR5900P / SR5500P / SR3900P / SR3700P / SR3500P /  
SR-R980 / SR970 / SR950 / SR750 / SR-R680 / SR670 / SR-R560 /  
SR550 / SR530

対応テープ幅は、12mm / 18mm / 24mm / 36mm / 50mm です。

ラベルソフト及びプリンタドライバの必要システムは、ラベルソフトの取扱説明書を参照してください。

# サンプルプログラム使用方法

- ① Excel を搭載した PC に、Windows 向けラベルソフト「テプラ クリエイター」(SPC10)アプリケーションと対応機種のプリンタドライバをインストールします。  
インストール方法については、ラベルソフトの取扱説明書を参照してください。
- ② 当社ホームページよりダウンロードしたサンプルプログラムのファイル一式を、デスクトップ等に保存し、ファイルを解凍します。
- ③ 解凍された「bihin」(または「atena」、「nefuda」)フォルダ内の「bihin.xlsx」(または「atena.xlsx」、「nefuda.xlsx」)ファイルをダブルクリックして開きます。

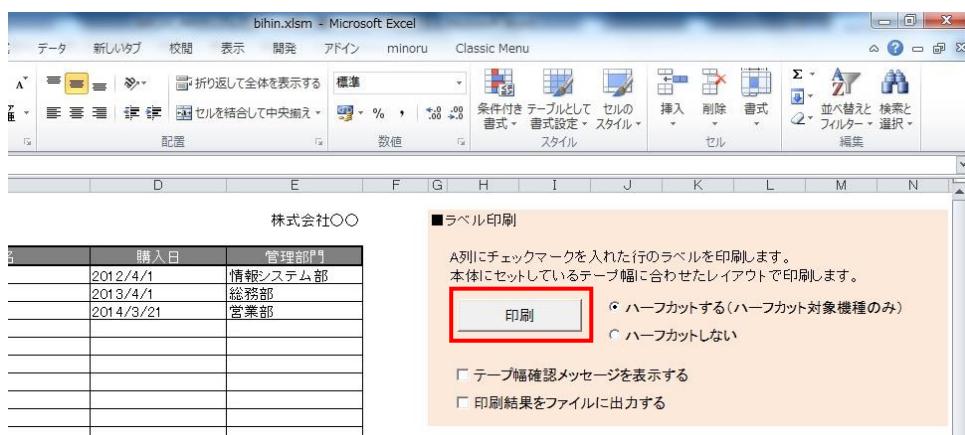


- ④ 管理項目の一覧表の左端のチェックボックスに、印刷するデータのみチェックマーク(レ)を入れます。



備品管理台帳				
	管理番号	備品名	購入日	管理部門
1	ABC0123	ノートPC	2012/4/1	情報システム部
2	DEF0456	デスクトップPC	2013/4/1	総務部
3	GHI0789	ノートPC	2014/3/21	営業部
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

- ⑤ 「印刷」ボタンをクリックします。



■ラベル印刷

A列にチェックマークを入れた行のラベルを印刷します。  
本体にセットしているテープ幅に合わせたレイアウトで印刷します。

ハーフカットする(ハーフカット対象機種のみ)  
  ハーフカットしない

テープ幅確認メッセージを表示する  
 印刷結果をファイルに出力する

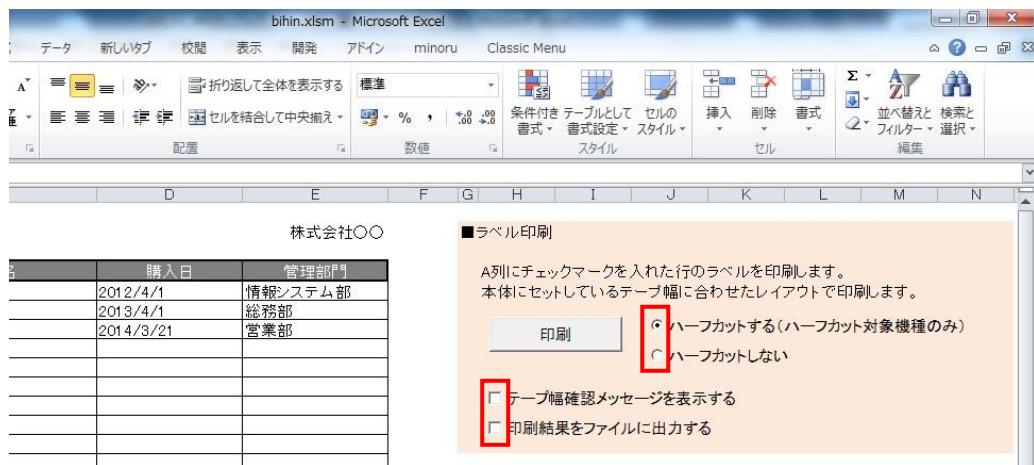
- ⑥ 本体にセットしているテープ幅に合わせたレイアウトで、ラベルを印刷します。

## ■追加機能について

「印刷」ボタンを押下する前に、以下の機能を選択することができます。

- ラベルの印刷面のみをカットする「ハーフカット」機能を使用する／しないを選択できます。  
(対象機種のみ)
- ラベル印刷時に画面上に「テープ幅確認メッセージ」を表示することができます。
- 印刷結果を、同じフォルダ内にテキストファイルで出力することができます。

※印刷成功の場合：“0[Tab]succeed”／印刷失敗の場合：“1[Tab]fail”



## ■ご注意

- 機種によって印刷解像度や印刷可能領域が異なるため、同じテープ幅でも印刷したラベルが同一にはなりません。
- SR3500P は、ラベルの余白を狭く設定したレイアウトでは、自動カットせずに「カットマーク」を印刷します。
- 4mm/6mm/9mm 幅のテープカートリッジ、転写テープ・カットラベルをセットした場合、テープ幅エラーとなります。
- 解凍済みフォルダから、Excel マクロ有効ファイル(.xlsm)とレイアウトファイル(.lw1)を移動すると正常に動作しない場合があります。Excel マクロ有効ファイル(.xlsm)とレイアウトファイル(.lw1)は同一フォルダ内に置いて使用してください。

# 開発者様向けのご案内

以下は、ERP 製品開発者様、企業のシステム管理者様向けのご案内となります。

本サンプルプログラムは、Windows 向けラベルソフト「テプラ クリエイター」(SPC10)および「テプラ」プリントドライバとの連携を、Excel の VBA プログラムによって実現しています。

呼び出しコマンドの詳細については、「テプラ クリエイターAPI」(SPC10-API)機能ユーザーズガイドをご覧ください。

外部プログラムの呼び出しがおこなえないアプリケーションソフトからは、お使いになられません。  
プログラミングに関するアドバイスやデバッグなどにつきましては、当社のサポート対象外となりますので、ご了承ください。

## 1. 印刷するラベルの内容の決定

まず、基となるデータから、どのようなラベルを印刷するかを決めます。

本サンプルプログラムでは、3 種類の用途でのラベルを印刷する例で作成していますが、いずれも管理項目として Excel のセルに入力したデータを、CSV 形式のファイルに出力しています。

データをどのような順番で出し、ラベルのどの場所に印刷するかを決めます。

なお、セルのデータを VBA プログラムで処理(演算や文字列操作など)した結果を、印刷することも可能です。

■ラベル印刷

A列にチェックマークを入れた行の本体にセットしているテープ幅に合

印 刷

● ハーフ

○ ハーフ

□ テープ幅確認メッセージを表示

□ 印刷結果をファイルに出力する

QR コードは各列のデータを結合したもの

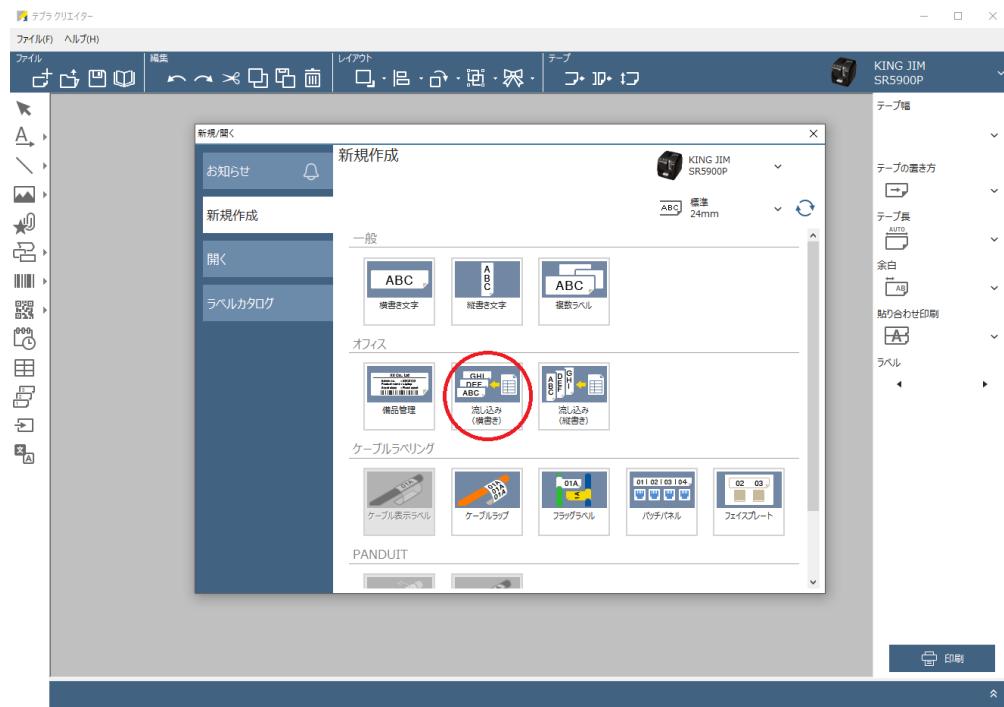
(VBA プログラム中で結合)

	管理番号	備品名	購入日	管理部門
5	ABC0123	ノートPC	2012/4/1	情報システム部
6	DEF0456	デスクトップPC	2013/4/1	総務部
7	GHI0789	ノートPC	2014/3/21	営業部

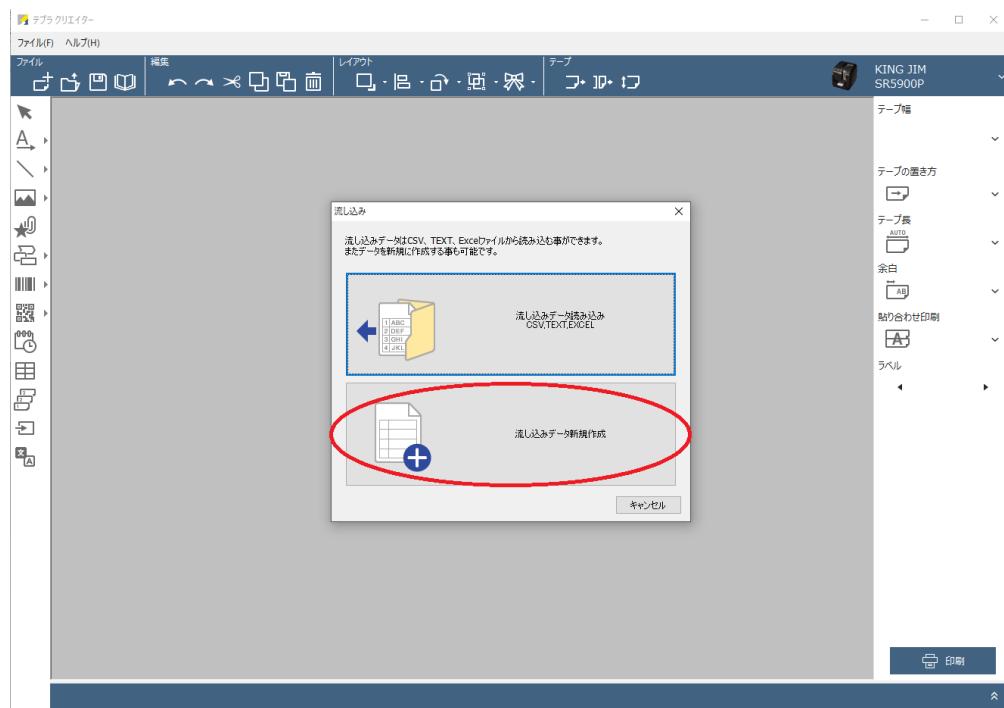
## 2. テンプレートファイル(.lw1)の作成

1. で決めたラベルの内容にしたがい、「テプラ クリエイター」(SPC10)の流し込み機能でラベルのデザインをおこないます。

流し込み機能は、新規作成画面で「流し込み」のアイコンを選択して「OK」をクリックします。

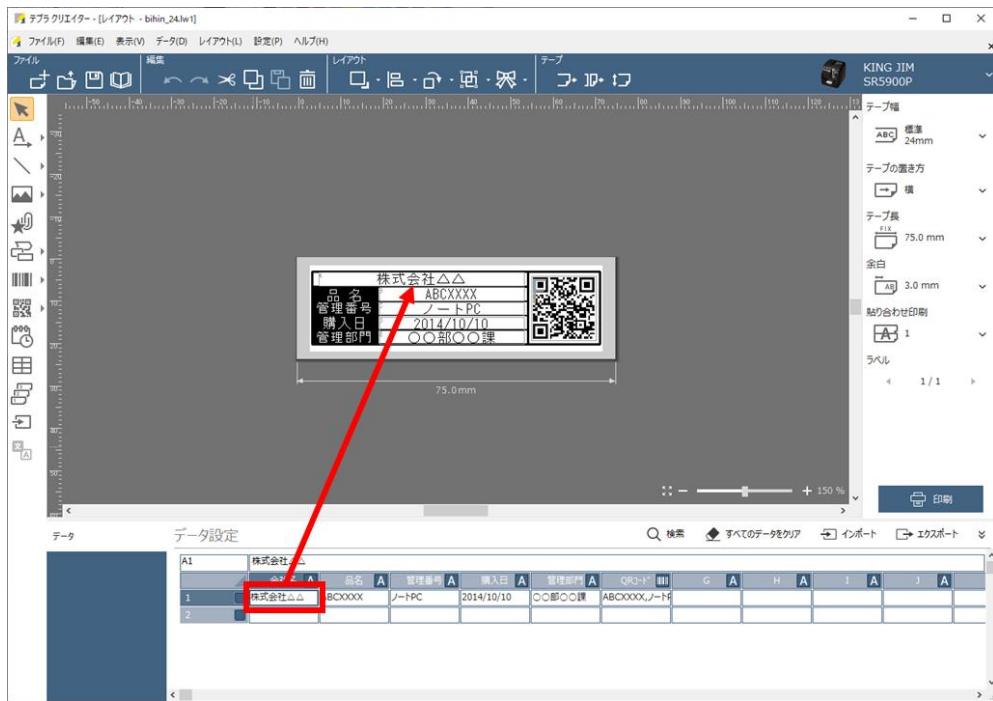


「流し込みデータ新規作成」をクリックし、データ作成画面を開きます。



表示された画面で、各列のラベル上での印刷位置の割付けと、見出しや枠線などのデザインをおこないます。

具体的には、下側のデータ設定画面から、流し込みたい列タイトルをドラッグし、ラベル上に移動すると、流し込み枠がラベルイメージに貼りつけます。



データ作成画面の各列の並びの順番が、印刷データファイル(.csv)でのカンマで区切られた並び順に相当します。

この例ではいちばん右の「列属性」を に変更している列が、QRコードの流し込み枠になっています。印刷データファイル(.csv)の 5 番目の文字列が上記の列にあたりますので、その文字列で QR コードが生成されることになります。

テンプレートファイルの作成に際し、各列の 1 行目には文字列を入力しておきますが、入力した文字列データは「テプラ クリエイターAPI」(SPC10-API)機能では印刷には使われませんので、ラベルのデザインを作成するために適当な文字列を入力しておいても問題はありません。

### 3. VBA プログラムの作成

本サンプルプログラムにおける Excel マクロ有効ファイル(.xlsm)の VBA プログラムの主な処理は、以下の内容になります。

具体的な記述形式や詳細は、VBA プログラム内のコメントおよび「SPC10-API」機能ユーザーズガイドをご確認ください。

- ① OS の 32bit/64bit 環境を判別
- ② テープ幅取得関数の定義
- ③ オプション文字列生成関数の定義
  - ・ テープ幅のファイル出力(/GT オプション)
  - ・ カット設定(/C オプション)
  - ・ テープ幅確認メッセージの On/Off 設定(/TW オプション)
  - ・ 印刷結果のファイル出力(/L オプション)
- ④ 印刷実行関数の定義
  - ・ 印刷コマンド(/p オプション)  
※プリンタドライバ、「テプラ クリエイター」(SPC10)アプリケーション、テンプレートファイル(.lw1)の呼び出し

#### ■ご注意

- ・ 「テプラ クリエイターAPI」(SPC10-API)機能は、SPC10 Ver.1.00 以降に搭載されています。
- ・ ラベルソフトの最新のバージョン情報、対応機種の最新情報などにつきましては、当社ホームページをご覧ください。

「キングジム」、「KING JIM」、「テプラ」、「TEPRA」は、株式会社キングジムの商標または登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Excel」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windows 向けラベルソフト「テプラ クリエイター」「テプラ クリエイターAPI」機能  
サンプルプログラム 簡易マニュアル  
2024年11月発行:株式会社キングジム  
Copyright 2014-2024 KING JIM CO.,LTD.